

第4学年国語科学習指導案

平成30年11月1日(木) 5校時

4年2組 児童数24名

指導者 才市 美奈

1 単元名 　　くらしの中にある「和」と「洋」を調べよう ～おもしろい!和・洋リーフレット展覧会～ 教材名 　　「くらしの中の和と洋」(東京書籍4年)

新学習指導要領における【身に付けさせたい資質・能力】	【設定した言語活動とその設定理由】
<p>【知・技】 (1)カ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。 (2)イ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。</p>	<p>【言語活動】 くらしの中にある和と洋についての文章を読み、参観日での展覧会(家の人や先生)に向けて、自分が伝えたいことの根拠となる部分を選んで引用・要約しリーフレットにまとめて紹介する。</p>
<p>【思・判・表】 Cウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。</p>	
<p>【学びに向かう力】 身の回りにある「和」と「洋」に関心を持ち、その特徴や良さについて違いを見つけながら読もうとしている。</p>	<p>【理由】 生活の中にある和と洋に興味を持って本を読み、児童がおもしろいなと感じたものを、中心となる語や文を選んで引用・要約して自分の経験と合わせて紹介することで身に付けさせたい力につながると思われる。</p>

2 単元について

単 元 観

- 現行学習指導要領の指導事項は、C読むこと「エ目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」である。
- 本教材は、くらしの中の「住」における和と洋の違いや良さを対比して分かりやすく説明したものである。文章構成がとらえやすく、本論では「すごし方」と「使い方」2つの観点で、和と洋を対比構造で述べることでそれぞれの良さが明確になっている。
- 本単元では身の回りにある和と洋について何をどのように比べているのかを読み、目的を意識して文章全体の内容を把握して大事な部分を引用・要約することができる力を目指していく。

児 童 観

- 3年生11月の「もうどう犬の訓練」では、大事な言葉や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約する学習をしている。その際、要約する時のポイントをまとめたものを掲示して、参考にしながら学びを進めてきた。
- 今年度の標準学力調査の「読むこと」の領域では、「説明文の内容を読み取る」の問題で目標値65.0Pのところ正答率72.9Pと7.9P上回っており、内容を正しくとらえる力についてはとらえられていると考えられる。4年生5月「ヤドカリとイソギンチャク」では、まとまりごとに構成をとらえる学習を行い、話題提示、問いと答え、まとめの順を意識した「びっくり!生き物リーフレット」の言語活動を設定した。その際の並行読書では、書かれている言葉の意味を理解しにくい児童もおり、言葉を補いながら活動を進めてきた。本単元では、自分が伝えたいと思う大事な部分を取り出し、根拠を示しながら友達と交流し合う中で、思考を深める児童の姿を目指したい。

指 導 観

- 第一次では、「和と洋」を対比させた写真や実物を紹介し、本教材に対する興味を持たせる。また、教師の作成した「和と洋リーフレット」を示し、引用が自分の考えの根拠となることをおさえ、身の回りにある「和」と「洋」を展覧会(作成した「おもしろい!和・洋リーフレット」をホールに展示して、家の人や先生に見てもらい感想を書いてもらうというもの)で紹介するという目的意識を持って学習計画を立てる。
- 第二次では、まず教材文の文章構成をとらえ、和と洋を対比することでそれぞれの特徴や良さが明確になることをおさえる。そして、2つの観点「すごし方」と「使い方」について和と洋それぞれの良さを明らかにし、必要な部分を選ぶ引用の仕方を理解させ、文章全体の内容を把握したうえで元の表現を生かしたり、自分の言葉を用いたりして分量などを考えて短くまとめ要約していく。このような教材文での学習と並行して、和と洋について書かれている本を読み、自分がおもしろいと思った和と洋を対比させながら観点を意識して語や文を付箋に書いて必要な情報を取り出し集めていく。
- 第三次では、集めた情報を使い方や作り方、形などの観点ごとに整理していく。その中から自分が伝えたいことの根拠となる部分を選んで引用・要約し、自分の考えを交えて紹介するリーフレットを作る。その際、引用・要約・自分の考えがつながるように友達同士で質問したり、アドバイスしたりして交流をしながら思考を深めていき、家の人や先生に紹介する展覧会を行う。

3 単元の目標

○身の回りにある「和」と「洋」に関心を持ち、その特徴や良さについて違いを見つけながら読もうとしている。

【関心・意欲・態度】

◎文章を読み、何をどのように比べているかとらえ、目的に応じて必要な部分を引用したり、要約したりすることができる。

【C読むこと(1)エ】

○段落相互の関係に注意しながら、指示語や接続語の役割を理解して読むことができる。

【言(1)イ(ク)】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①身の回りにある「和」と「洋」に関心を持ち、その特徴や良さについて違いを見つけながら読もうとしている。	①何をどのように比べているかとらえ、目的に応じて必要な部分を引用したり要約したりしている。	①段落相互の関係に注意しながら、指示語や接続語の役割を理解して読んでいる。

5 指導と評価の計画(全11時間)

		めあて	評価規準(評価方法)	学び	評価
第一次 2	1	・身の回りにどんな和のもの、洋のものがあるかな。	・身の回りにある和と洋に関心を持ち、自分の生活場面とつなげて話し合っている。 (発言・ノート)	主	関①
	2	・この單元ではどんな学習が必要だろう。今までの学習をもとに学習計画を立てよう。	・学習課題をつかみ、既習をもとに單元で必要な力を考え、意欲的に取り組もうとしている。 (観察・発言)	主	関①
第二次 5	3	・文章のまとまりをとらえて、考えてきた見出しをもとにどんなことについて説明しているか考えよう。	・文章構成をとらえ、本論では2つの観点(すごし方と使い方)で比べていることに気づいている。 (ノート・観察)	対	読① 言①
	4	・和室と洋室のすごし方の良さを紹介するために、どこを引用すれば伝わるかな。	・自分の伝えたいことを表現するために、必要な言葉や文を選んで引用することを考えている。 (観察・発言)	対	読①
	5	・和室と洋室のすごし方の良さをもっと伝えるために、どんな工夫をするといいのかな。引用した部分に着目して考えよう。	・引用した部分をもとにして要約・自分の考えを加えると、さらに伝えたいことがはっきりすることを理解している。 (観察・発言)	対 深	読①
	6 (本時)	・和室と洋室の「使い方」の良さはこれ！引用・要約・自分の考えのつながりに気をつけて構成しよう。	・和室と洋室の使い方の良さを紹介するために大事な言葉や文を見つけ、引用・要約・自分の考えを接続語を用いて構成している。 (ワークシート・観察)	主 対	読①

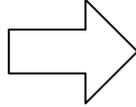
	7	・和室と洋室の「使い方」の良さはこれ！ 3点セットの構成をもとにリーフレットにまとめよう。	・和室と洋室の使い方の良さを紹介するために引用・要約をし、自分の考えと合わせて適切な言語を用いてリーフレットにまとめている。 (リーフレット)	対 深	読① 言①
第三次 4	8	・「おもしろい！和・洋」リーフレットでしょうかいするために、自分が伝えたいと思う大事な部分を選ぼう。	・自分がおもしろいと思った和と洋について、自分が伝えたいことに説得力が増す語や文を見つけて選んでいる。 (ワークシート・観察)	主 対	関①
	9 10	・引用・要約・自分の考えの3点セットで、「おもしろい！和・洋」リーフレットをまとめよう。	・自分が選んだ和と洋について比較しながら引用・要約して適切な言語を用いてリーフレットにまとめている。 (ワークシート・リーフレット)	主 深	読① 言①
	11	・読みたい！ 友達はどんな「おもしろい！和・洋」リーフレットをしょうかいしているのだろう。	・リーフレットを交流し、友達の引用や要約について良さを見つけながら、感想を伝えている。 (リーフレット・観察)	主 対	関①

付きたい力に向けた言語活動

くらしの中にある和と洋についての文章を読み、参観日での展覧会（家の人や先生）に向けて、自分が伝えたいことの根拠となる部分を選んで引用・要約しリーフレットにまとめて紹介する。

児童の実態

- 文章を読んで内容をとらえる力はあるが、伝えたいことをうまく表現している。
- 語彙が少なく、根拠をもとに自分の考えを伝えることが苦手である。



本単元で児童に付きたい力

- ◎文章を読み何をどのように比べているかとらえ、目的に応じて引用したり要約したりすることができる力

【C (1) エ】

第一次
2 (導入)

学習の流れと評価計画(全11時間)

主体的な学び

- 身の回りにある和と洋について関心を持つ。 1
- ・和と洋の写真や実物、教師のモデルからこれからの学習に興味を持つ。 【関①】
- 学習課題を確かめ、学習の計画を立てる。 1
- ・学習課題を確認し、学習の見通しを持つ。 【関①】

対話的な学び

深い学び

- 何をどのように比べて述べているのかに注意して、教材文「くらしの中の和と洋」に書かれている内容を読む。 5
- ・文章構成をとらえ、2つの観点（すごし方と使い方）で比べていることをとらえる。 【読①】【言①】
- ・和室と洋室のすごし方の良さを紹介するための引用・要約について考える。 ② (引用・要約の仕方・例文) 【読①】

本時

- ・和室と洋室の使い方の良さを紹介するために引用・要約・自分の考えをつなげて構成する。 【読①】
- ・使い方の良さについて必要な部分を引用・要約し、自分の考えと合わせて文章にまとめる。 【読①】【言①】

対話的な学び

深い学び

- 生活の中にある和と洋についてリーフレットにまとめ、交流し合う。 4
- ・並行読書の中から自分が興味を持った和と洋について、自分が伝えたいことの根拠となる部分を選んで引用・要約をし、自分の考えと合わせてリーフレットにまとめる。 【関①】【読①】【言①】
- ・リーフレットを交流し、単元の学習を振り返る。 【関①】

並行読書

第二次
5 (展開)

第三次
4 (発展)

7 本時における研究テーマとのかかわり

本時の目標

和室と洋室の使い方の良さを紹介するために大事な言葉や文を見つけ、引用・要約・自分の考えをつなげて構成することができる。

本時の評価規準

☆和室と洋室の使い方の良さを紹介するために大事な言葉や文を見つけ、引用・要約・自分の考えを接続語などのつなげる言葉を入れることによって再構成している。

支援

※接続語（つまり）自分の経験を書くときの（わたしも等）を入れて考えることで、つながりがあるか見直しをさせる。

主体的な学びにつながる

手立て

・構成について自分ができるようになったこと、どんな場面で使うことができそうかを視点として学びをふり返り、自分についての力を自覚させる。

深い学びへ向かう手立て

・引用・要約・自分の考えがつながっているかどうか接続語を使って判断できることを全体で共有する。

軸となる言語活動

○和室と洋室の使い方の良さを紹介するために、自分が選んだ引用・要約・自分の考えのつながりが適切かどうか話し合う。

思考・判断

・引用・要約・自分の考えがつながっていないバッドモデルを示すことでつながりの必要性を意識させる。

表現

・話し合ったことをもとに、大事だと思う言葉や文を引用・要約し、自分の考えとつながっているか再考する。

対話的な学びを実現するための手立て

・なぜその言葉や文を引用するのか選んだ理由、引用・要約・自分の考えがつながっているかどうかについて話し合いをさせる。

・グループで交流し、質問したり、アドバイスをしたりするなかで変わったことは加筆・修正させる。

8 学習の展開（全11時間）

第一次 1時間目（1/11）

(1) 目標 身の回りにある和と洋について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとすることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点（○）支援（※） 評価（☆）、主な発問 ^発
見 通 す	<p>1. 和と洋の写真を見て気づいたことを話し合う。</p> <p>2. 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○和と洋のものを比べながら読んでいくこれからの学習に興味を持たせる。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">身の回りにどんな和のもの、洋のものがあるかな。</div>	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	<p>3. 生活の中にある和と洋のものを見つけ発表し合う。</p> <p>4. 教師のリーフレット（2例）を読んで話し合う。</p> <p style="text-align: center;">【ペア】→【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「 」を使って言葉を書いている。 ・他の人の文章を書いている。 ・自分の考えを書いている。 ・どちらも和と洋を比べている。 	<p>○自分たちの生活場면을思い出させて考えを広げさせる。</p> <p>^発和と洋のものの使い方について紹介したいと思って書いたリーフレット。どちらのリーフレットが分かりやすいか考えよう。</p> <p>○引用部分がない文章とある文章を用意し、分かりやすいのはなぜか理由を問うことで、本単元で付けたい力「引用・要約」につなげる。</p> <p>※リーフレットに出てくる実物（ふろしきとバッグ）を見せることでイメージを確かなものにさせる。</p> <p>☆身の回りにある和と洋に関心を持ち、自分の生活場面とつなげて話し合っている。</p> <p style="text-align: center;">【関①】（発言・ノート）</p> <p>○モデルのリーフレットを見て、ゴールイメージを持たせる。</p>
ま と め 振 り 返 る	<p>5. 今日の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>家庭学習</p> <p>今までの学習を振り返り、この単元で使えそうな力をノートに書いてくる。</p> </div>	<p>○身の回りの和のもの、洋のものについて考えたことを視点として振り返りを書かせる。</p>

(3) 準備物 和と洋の写真、モデルのリーフレット

第二次 1時間目（3／11）

(1) 目標 文章構成をとらえ、本論では2つの観点で比べていることに気づくことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 前時に考えた学習計画を確認する。 2. 本時のめあてをつかむ。	○言語活動、学習の流れを確認し、ゴールイメージを共有する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 文章のまとまりをとらえて、考えてきた見出しをもとにどんなことについて説明しているか考えよう。 </div>	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. 文章構成をとらえ、始め・中・終わりを確かめる。 【グループ】 → 【全体】 ・最初に、和室と洋室の大きなちがいについて書いているね。 ・「まず」で1つ目、「次に」で2つ目のことを書いているね。 ・「2つのことで考えてみましょう。」と書かれている。 ・2つのことは「すごし方」と「使い方」で書いている。 ・終わりは説明してきたことをまとめているね。	^発 始め・中・終わりそして、中の部分をどのように分けましたか。どんな見出しを考えたのか、理由と合わせて発表して下さい。 ※順序を表す言葉、何度も出てくる言葉を手がかりにするとよいことに気づかせる。 ○まとまりを意識し、2つの観点「すごし方」と「使い方」で述べていることをおさえる。 ○文章構成（始め・中・終わり）について、簡単な図に表してまとめる。 ☆文章構成をとらえ、本論では2つの観点（すごし方と使い方）で比べていることに気づいている。 【読①】【言①】（ノート・観察） ○和と洋を対比することでそれぞれの良さが明らかになることをおさえる。
ま と め 振 り 返 る	4. 今日の学習をまとめ、振り返りをする。 ◎和と洋の良さを伝えるために、「すごし方」と「使い方」の2つの観点で比べている。観点を決めて比べると分かりやすく伝えることができる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 家庭学習 和室と洋室の「すごし方」の良さを表している段落を見つけてくる。 </div> ・並行読書をする。	○今日の学習で分かったことを視点として、振り返りを書かせる。

(3) 準備物 教材文

第二次 2時間目（4／11）

(1) 目標 自分の伝えたいことを表現するために、どの部分を引用したらいいか考えることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	<p>1. 単元のゴールを確認する。</p> <p>2. 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 和室と洋室のすごし方の良さを紹介するために、どこを引用すれば伝わるかな。 </div>	<p>○単元のゴールを共有し、本時の引用の学習につなげる。</p>
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	<p>3. P63 のすごし方の良さについてまとめた例を読み、どの部分を引用しているか確かめる。 【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和室の良さをまとめている文を引用しているね。 <p>4. 自分の伝えたいことを表現するための引用について話し合う。 【グループ】 → 【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良さを一番わかりやすく表しているから。 ・自分の伝えたいことを分かってもらうために合う言葉を選んで引用する。 ・自分が伝えたいことを表している文を引用する。 <p>5. 引用の仕方について確かめる。 【全体】</p>	<p>○まとめた例と教材文とを見比べ、引用している部分をとらえさせる。</p> <p>^発 なぜこの部分を引用しているのだろう。 ☆自分の伝えたいことを表現するために、必要な語や文を選んで引用することを考えている。 【読①】（観察・発言）</p> <p>○他の人が書いた文章のどの語句や文を引用すると自分の伝えたいことに説得力が増すか判断できるようにさせる。</p> <p>○引用部分を適切な分量にすることについておさえる。</p> <p>○引用するときは、「 」をつけて書くこと、もとの文章の形のままぬき出すこと、必要な部分だけを引用すること、書名や筆者名・出版社名・ページなど正しく書くことなどをおさえる。</p>
ま と め 振 り 返 る	<p>6. 今日の学習をまとめ、振り返る。 ◎自分の伝えたいことに説得力がまず言葉や文を選んで引用する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 家庭学習 P63 のまとめた例のどこが教科書の文か、どこが自分の考えか見つけながら読んでくる。 </div>	<p>○引用するときに大事にしたいことを視点として、振り返りを書かせる。</p>

(3) 準備物 教材文、すごし方の良さをまとめた例文

第二次 3時間目（5／11）

(1) 目標 伝えたいことの根拠となる言葉や文を意識して読み、要約の役割と自分の考えを加えることの意義について考えることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 引用の良さについて前時の学習を振り返る。 2. 本時のめあてをつかむ。	○すごし方の良さを伝えるために、説得力がある言葉や文を選んで引用する前時の学習を想起させる。
	和室と洋室のすごし方の良さをもっと伝えるために、どんな工夫をするといいのかな。引用した部分に着目して考えよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. P63の例を読み、すごし方の良さをどのようにまとめているか確かめる。 【全体】 ・引用したあと、「つまり」ともっと短くまとめて書いている。 ・「しせいと間かく」って短い言葉で要約している。 ・要約の後、自分が考えたことを書いている。 4. 要約を加えてまとめる必要性について話し合う。 【グループ】 → 【全体】 ・引用は長くなって分かりにくい。 ・短くまとめると、自分の言いたいことがもっと正しく伝えられる。 5. 例文の文章について自分の言葉で要約する。 【個人】 → 【全体】 6. さらに経験をもとにした自分の考えを加えてまとめることの必要性について話し合う。 【全体】 ・引用・要約だと人の意見だけになる。 ・自分が思ったことをもっと分かってもらいたいから。	○例文からすごし方の良さを①引用②要約③自分の考えの順で和と洋を比べてまとめていることを確認させる。 ^発 引用と要約はどんな関係になっているのだろう。 ○短い言葉でまとめて述べる要約で伝えることでさらに説得力が増すことに気づかせる。 ※自分が必要と思う言葉をそのまま書いたり、つなげたりして要約するとよいことを伝え支援する。 ○自分だったらどんな要約をするか考えることで、一人ひとりの考えを大切にさせる。 ○他の人が書いた文章と自分の考えが区別するように述べ方の確認をする。 ☆引用した部分をもとにして要約・自分の考えを加えると、さらに伝えたいことがはっきりすることを理解している。 【読①】 (観察・発言)
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習をまとめ、振り返りをする。 ◎引用に要約や自分の考えを加えると、説得力が倍増する。 家庭学習 和室と洋室の使い方の良さを伝えるために、引用・要約・自分の考えをワークシートに書いてくる。	○要約の役割と自分の考えを加えることの大切さについて分かったことを視点として、振り返りを書かせる。

(3) 準備物 教材文、すごし方の良さをまとめた例文

第二次 4時間目（6／11） 本時

(1) 目標 和室と洋室の使い方の良さを紹介するために大事な言葉や文を見つけ、引用・要約・自分の考えをつなげて構成することができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. モデルの文を見て、引用・要約・自分の考えの3点がつながっているか確認する。 2. 本時のめあてをつかむ。	○教師のバッドモデルを見て、引用・要約・自分の考えがつながっていないことに気づかせる。
	和室と洋室の「使い方」の良さはこれ！ 引用・要約・自分の考えのつながりに気をつけてこう成しよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. 交流の内容について確認する。 4. 洋室の使い方の良さを紹介するために大事だと考えた引用・要約・自分の考えについて話し合う。 【グループ】 → 【全体】 ・引用したのは、まとめている文だから。 ・「洋室は～」って良さを説明しているところが大事な文だと思ったので、その文を引用した。 ・要約したことの一つの例として、自分の考えを書いているからつながっている。 ・「つまり」や「わたしも」という接続語を入れると、文章がつながっていることが分かる。 ・「このことからぼくも～」の言葉でつながるな。 5. 話し合ったことをもとに、洋室の良さについて引用・要約・自分の考えがつながっているか再考する。 【個人】 ・「つまり」と「わたしも」を入れてみると、つながっているからこの構成でいいな。 6. 学習したことを生かして、各自まとめてきた和室の使い方の良さについて確認・再考する。 【個人】	○引用する言葉を選んだ理由を話すこと 引用・要約・自分の考えがつながっているかどうか話し合いをさせる。 ○グループでワークシートを見ながら質問をしたりアドバイスをしたりするなかで変わったことは加筆・修正させる。 ^発 引用・要約・自分の考えの3点がつながっていることをどうすれば判断できますか。 ○3点がつながっていることは、接続語などのつなげる言葉を用いるとよいことを確認させる。 ○他にもつなげる言葉を提示し、確認する。 ☆和室と洋室の使い方の良さを紹介するために大事な言葉や文を見つけ、引用・要約・自分の考えを接続語などのつなげる言葉を入れることによって再構成している。 【読①】(ワークシート・観察) ※接続語(つまり)自分の経験を書くときの(わたしも等)を入れて考えることでつながりがあるか見直しをさせる。
ま と め 振 り 返 る	7. 今日の学習を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 家庭学習 和と洋の使い方の良さはこれ！と紹介するために、接続語を意識してもう一度考えてくる。 </div>	○自分ができるようになったこと、どんな場面で使うことができそうか考えて振り返りに書かせる。

(3) 準備物 教師のモデル、ワークシート、教材文、書画カメラ、すごし方の良さをまとめた例文

第二次 5時間目（7／11）

(1) 目標 和室と洋室の使い方の良さを紹介するために引用・要約をし、自分の考えと合わせてリーフレットにまとめることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 単元のゴールを確認する。 2. 本時のめあてをつかむ。	○単元のゴールを共有し、引用・要約の目的を確認する。
	和室と洋室の「使い方」の良さはこれ！ 3点セットのこう成をもとにリーフレットにまとめよう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. 宿題として再考したものをもう一度グループで確認し合う。 <div style="text-align: center;">【グループ】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすい要約の言葉にしているね。 ・ 和室と洋室の使い方の良さのちがいが分かりやすい要約だね。 4. 和室と洋室の使い方の良さについて、引用・要約し、自分の考えを交えてリーフレットにまとめる。 <div style="text-align: center;">【個人】</div>	^発 使い方の良さを紹介するために、どんな工夫をしたのか3点セットに1つについてグループで話し合いました。 ○3点セットのワークシートをもとに、使い方の良さを例にならってリーフレットにまとめていくことをおさえる。 ○自分の伝えたい使い方の良さが紹介できるように「本の書名」「引用」「要約」「自分の考え」比べて述べる言い方などを確認する。 ※P63 教科書の文章をまとめた例「すごし方について」を参考にして書くようにさせる。 ☆使い方の良さを紹介するために引用・要約をし、自分の考えと合わせて適切な言語を用いてリーフレットにまとめている。 <div style="text-align: center;">【読①】【言①】（リーフレット）</div>
ま と め 振 り 返 る	5. 今日の学習を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 家庭学習 次時からの自分が選んだ「おもしろい！和・洋」リーフレットにつなげるために、観点に沿って引用・要約・自分の考えが書かれているか読み返してくる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 並行読書をする。 	○リーフレットにまとめる時に意識したことはどんなことか振り返りとして書かせる。

(3) 準備物 ワークシート、リーフレット用紙、すごし方の良さをまとめた例文

第三次 1時間目（8／11）

(1) 目標 自分がおもしろいと思った和と洋について、自分が伝えたい大事な部分を見つけて選ぶことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 単元のゴールを確認する。 2. 本時のめあてをつかむ。	○自分がおもしろいと思った和と洋を紹介するという目的意識を持たせ、意欲化を図る。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「おもしろい！和・洋」リーフレットでしょうかいするため、自分が伝えたいと思う大事な部分を選ぼう。 </div>	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. これまで集めた情報から大事だと思う語や文を選ぶ。 <div style="text-align: center;">【個人】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使い方の観点は和の方は選んでいないなあ。 ・ ワークシートに分けていくと分かりやすいな。 ・ 和と洋の違いがはっきりしていて分かりやすいから○○の観点で紹介しよう。 4. 選んだ語や文とその理由をグループで話し合う。 <div style="text-align: center;">【グループ】 → 【全体】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作り方のちがいがおもしろいと思ったので、この観点到に決めたよ。 ・ おふろとシャワーの使い方の良さはそれぞれ分かるから家の人に紹介したいな。 	○並行読書で集めてきた大事だなと思う語や文を書いた付箋を観点別にワークシートに整理させる。 ○自分が伝えたいことに合わせて、大事だなと思う語や文を見つけさせる。 ○語や文を新たに付け加えてもよいことを確認する。 ※どのような点で比べているのか観点を示しながら選ぶことができるように支援する。 ^発 選んだ観点と引用したい語や文についてどんなことを紹介したいのかグループで伝え合ひましょう。 ○和と洋の同じ観点を比べることができているかグループで話し合いをさせる。 ☆自分がおもしろいと思った和と洋について、自分が伝えたいことに説得力が増す語や文を見つけて選んでいる。 <div style="text-align: right;">【関①】(ワークシート・観察)</div>
ま と め 振 り 返 る	5. 今日の学習を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 家庭学習 自分が伝えたい和と洋の要約したい言葉をワークシートに書いてくる。 </div>	○めあてに沿って、自分がどんなことを意識して選んだのか視点として、振り返りを書かせる。

(3) 準備物 ワークシート、書画カメラ、並行読書の本

第三次 4時間目（11／11）

(1) 目標 リーフレットを読み合い、引用や要約について自分の考えを広げながら読むことができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. 本時のめあてをつかむ。	○家の人や先生への展覧会に向けて、友達におもしろさが伝わるか今日の学習の目的を持たせる。
	読みたい！ 友達はどんな「おもしろい！和・洋」リーフレットをしようかしているのだろう。	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	2. 友達とリーフレットを読み合い、感想を伝え合う。 【全体】 (1) 交流の視点を確認する。 (2) リーフレットを読み合い、交流する。 【グループ】 ・この言葉を引用して、それを自分で要約できているから分かりやすいな。 ・使い方の観点で和と洋をまとめていて、自分とは違うな。 ・～さんの見つけた和と洋はおもしろさが伝わるな。	○視点を2点示し、読む目的を明らかにさせる。 ①何をどのように（観点）比べているか。 ②引用・要約・自分の考えがつながり、おもしろさが伝わるか。 発 和と洋のおもしろさが伝わるリーフレットになっているか読み合って、感想を伝え合しましょう。 ☆リーフレットを交流し、友達の引用や要約について良さを見つけながら読み、感想を伝えられている。 【関①】 （リーフレット・観察）
ま と め 振 り 返 る	3. 単元の学習を振り返り、視点に沿って自分についた力を確かめる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">家庭学習 家の人に読んで紹介し、感想を付箋に書いてもらう。</div>	○引用・要約する力について、 ①自分に身についた力 ②まだ十分でないこと ③これから活用できそうな場面 を視点として単元全体の振り返りを書かせる。 ※自分のリーフレットを見ながら書かせる。

(3) 準備物 リーフレット、並行読書の本